

H.pylori 感染胃炎保険適用を生かした方策

加藤元嗣

国立病院機構国立函館病院消化器科 院長

検診から除菌治療へ

1

日本における胃がんによる死亡数は近年低下の傾向が見られるものの、罹患数はいまだ横ばいである。世界的に見ると、各年代において胃がんの死亡者数は低下傾向にある。要因としては生活環境の変化や医療技術の進歩、およびH.pylori 感染率の低下が挙げられる。しかし日本においては、人口構成の変化によって超高齢社会となり、80歳代のがん患者数が増加していることが罹患患者数の減らない状況につながっている。

一方、2000年度に消化性潰瘍へのH.pylori 除菌療法が保険適用となり、2013年度にはH.pylori 感染胃炎にも適応拡大となった結果、30年間およそ5万人で推移してきた胃がん死亡者数がようやく下がり始めている。近年は4万4千人まで減少してきており、疫学的な予測死亡者数に比して10%近い減少である。これは除菌療法の普及の成果と考えられる。

日本ヘリコバクター学会のガイドラインにおいては、感染検査と除菌（test and treat：T&T）を若い年代から推進し、次世代への感染を抑止していくこと、胃がんのリスクが上昇する50歳代以降の世代に対して内視鏡によるスクリーニングを行うことが提言されている。中高年に対して陽性者を発見して除菌療法を行うことだけでなく、若年層に対する対策も検討していくことが日本における胃がん予防では重要である。

除菌を推進するにあたっては、感染を確認する機会を設けることが重要となる。献血時には輸血感染を防ぐために各種検査が行われているが、ここで輸血後感染に関わるものだけ

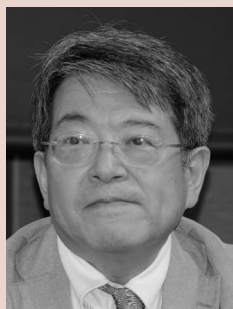
ではなく、H.pylori 抗体検査も希望者に対して実施できるようにすれば、有効であると思われる。また母子保健法に基づく妊婦検診においては、H.pylori も母子感染しうる感染症であることから、こちらも希望者は検査できるようにすることが望ましい。任意検診および職場における対策型検診においてはリスク検診が有効であるが、従来はHP抗体検査の陰性高値の問題があった。現在は栄研のEプレートを用いた酵素結合免疫吸着アッセイ（enzyme-linked immuno sorbent assay：ELISA）については、判定基準が改訂されている。

内視鏡を用いる検診も増えてきているが、検診で発見されるがんはがん登録全体からみるとごく一部であり、約97%の胃がんはクリニックや病院の内視鏡検査で発見されている。したがって、病院で検査を受ける機会がある方については比較的しっかりがんを発見できているが、病院に行く機会がない方に対しては、がん検診の数を増やすような方策が必要なのである。韓国では検診受験者に医療補助を行うことにより受診率が大幅に改善されており、このような制度を設けることも重要となる。また、バリウム検診からH.pylori 感染者を見つけて、内視鏡検査から除菌治療につなげたり、内視鏡検査の際に胃炎の京都分類を行い、感染状況を把握するなど除菌治療につなげる戦略を立てることは基本的な方策である。

除菌推進の取り組みの実例として、国立病院機構函館病院では希望者に対して自費でのH.pylori 検診を行っている。尿検査で30分以内に結果が得られるので、陽性になった方には医療機関での受診を勧めることで除菌治療につなげている。取り組みを始めて1年半ほどになるが、約2,700人の受診者のうち25%が陽性となった。このうち12例14病変に胃がんが発見された。また40～50歳代の比較的若い人でもがんが発見されており、そのうち約半数は、萎縮の程度が軽度にとどまる段階で見つかっている。従来のがん検診で発見されるような胃がんとは異なった症例が発見できるということであり、こうした取り組みを広めることには価値がある。

40歳代女性の症例では、初めは除菌治療のみの希望であったが、内視鏡検査を勧めた結果、未分化型がんの発見に至った。内視鏡的粘膜下層剥離術（endoscopic submucosal dissection：ESD）を行ったが、粘膜下層に浸潤していたので

PROFILE



Mototsugu Kato

かとう・もとつぐ ●昭和57年3月北海道大学医学部卒業、同年6月北海道大学医学部附属病院第3内科研修医、同年11月市立稚内病院内科。昭和62年国立療養所西札幌病院内科、平成元年北海道大学医学部附属病院第3内科医員、平成6年札幌拘置所医務課長、平成7年北海道大学医学部附属病院第3内科助手、平成10年米国ベイラー医科大学留学、平成11年北海道大学病院光学医療診療部助教授、平成19年同准教授・光学医療診療部部長、平成22年同診療教授、平成26年国立病院機構函館病院院長。